

めぐみイエス・キリスト教会

2018年3月11日(日)第二聖日礼拝
週報「通算第396号」



2018年標題聖句

使徒の働き27章22節～26節

27:22 「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、いのちを失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。

27:23 昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、

27:24 こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

27:25 ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。

27:26 私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。」

主日礼拝毎週日曜日 午前10時～11時

聖書研究・祈禱会 毎週水曜日 午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年3月11日(第二聖日礼拝)

午前10時～11時

司会 鈴木 竜実 牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈り】

【賛美Ⅰ】 新聖歌203「ああイエス君」 p. 304

【交読文】 No.47 出エジプト記20章 p. 916

【賛美Ⅱ】 新聖歌407「イエスよわが身と」 p. 652

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.15 「だから元気を出しなさい」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書14章1節～3節(新約p. 191)

【祈 禱】

【説 教】 《場所を備えに行きます》 鈴木 竜実 牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

●ポイント1「あなたがたは、心を騒がしてはなりません。」とは？

※イザヤ書28章16節 「イザヤのメシヤ預言から」 (旧約p.1070下段)

28:16 だから、神である主は、こう仰せられる。「見よ。私はシオンに一つの石を礎として据える。これは、試みを経た石、堅く据えられた礎の、尊いかしら石。これを信じる者は、あわてることがない。」

※ローマ人への手紙10章11節「パウロの勧めから」 （新約p.280上段）

10:11 聖書はこう言っています。「彼に信頼する者は、失望させられることがない。」

●ポイント2「十二使徒への約束と預言」とは？

※ルカの福音書22章28節～30節「イエス様のお答え」(新約p.149下段)

「けれども、あなたがたこそ、私のさまざまな試練の時にも、私について来てくれた人たちです。私の父が私に王権を与えてくださったように、私もあなたがたに王権を与えます。それであなたがたは、私の国で私の食卓に着いて食事をし、王座に着いて、イスラエルの十二の部族をさばくのです。」

●ポイント3「また来て、あなたがたを私のもとに迎えます。」とは？

※黙示録21章10節～14節「新しいエルサレムにて」 （新約p.459下段）

※第一テサロニケ4章13節～17節「眠った人々のこと」(新約p.366下段)

4:13 眠った人々のことについては、兄弟たち、あなたがたに知らないでいてもらいたくありません。あなたがたが他の望みのない人々のように悲しみに沈むことのないためです。

4:14 私たちはイエスが死んで復活されたことを信じています。それならば、神はまたそのように、イエスにあって眠った人々をイエスと一緒に連れて来られるはずです。

4:15 私たちは主のみ言葉のとおりに言いますが、主が再び来られるときまで生き残っている私たちが、死んでいる人々に優先するようなことは決してありません。

4:16 主は、号令と、御使いのかしらの声と、神のラッパの響きのうちに、ご自身天から下って来られます。それからキリストにある死者が、まず初めによみがえり、

4:17 次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らと一緒に雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることになります。

◎先週のメッセージの概要【後にはついて来ます】

《ペテロは、イエス様に質問しました。「主よ。どこにおいでになるのですか。」「私が行く所に、あなたは今はついて来ることができません。しかし後にはついて来ます。」イエス様のこの言葉は、ペテロ個人に対する預言です。

イエス様がよみがえられた後、ガリラヤ湖畔において、弟子たちにご自身を現わされた時、シモン・ペテロにこのように言われました。

「まことに、まことに、あなたに告げます。あなたが年をとると、他の人があなたに帯をさせて、あなたの行きたくない所に連れて行きます。」

『これは、ペテロがどのような死に方をして、神の栄光を現わすかを示して、言われたことであつた。』と、使徒ヨハネは、注釈をつけています。

これこそ、イエス様が、「後にはついて来ます。」とペテロに言われた預言の成就になります。そしてペテロに言われたことは、「私に従いなさい。」でした。従って行くこととは、十字架の他にはありません。その通りに、後にペテロは、ローマにおいて逆さ磔にかかり、天の御国に凱旋することとなります。

さて、ペテロは言いました。「あなたのためにはいのちも捨てます。」

この言葉は傲慢でも、嘘でもありません。心底ペテロはそうのように思っていたのです。この時から、三年半年ほど前、ペテロと弟アンデレが、漁を終え、湖で網を打っていた時に、主イエス様が彼らを召し出されました。

「私について来なさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう。」

そして二人は、すぐに網を捨てて従ったのです。

「ご覧ください。私たちは、何もかも捨てて、あなたに従ってまいりました。」

これは嘘偽りではなく、本当に二人は、イエス様に従って来たのです。「まことに、あなたがたに告げます。私の為に、また福音の為に、家、兄弟、姉妹、母、父、子、畑を捨てた者で、その百倍を受けない者はありません。今の時代には、家、兄弟、姉妹、母、子、畑を迫害の中で受け、後の世では永遠の命を受けます。」一人が救われれば、家族全員が救われるのです。》

◎お知らせ

1. 次回の礼拝は、3月18日(日)午後6時から行ないます。また次回聖書研究会・祈祷会は、3月14日(水)午後6時15分から、通常通りに行ないます。
2. 鈴木師は、3月12日(月)ITCN午前集会とTPC昼礼拝の奏楽を担当します。また3月14日(水)TPC昼礼拝のメッセージを担当します。ぜひお祈り下さい。